

## 南アジア4カ国 マーケットレポート

## 【株価指数の推移】※…現地通貨ベース

		終値	9月15日比
インド	S&P・BSE500種指数	13,610.70	-3.32%
スリランカ	スリランカ コロンボ 全株指数	6,438.24	0.57%
パキスタン	カラチ 全株指数	30,395.71	-0.05%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	6,092.84	-1.79%

(出所：ブルームバーグ)

## 【為替(対円)の推移】

		終値	9月15日比
インド	インドルピー	1.7240	-0.35%
スリランカ	スリランカルピー	0.7350	1.39%
パキスタン	パキスタンルピー	1.0670	1.43%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.3671	-0.39%

(出所：ブルームバーグ)

## 【インド：S&amp;P・BSE500種指数、軟調に推移】

S&P・BSE500種指数は、外国人投資家の資金流出などから下落しました。強い米経済統計を受け、米連邦準備理事会（FRB）による追加利上げ観測が高まり、新興国市場は総じて軟調な展開でした。インドでは、北朝鮮情勢や原油価格の上昇にともなうインフレの高進、政府支出増に伴う財政赤字拡大懸念なども投資家心理を悪化させました。アジア開発銀行は26日発表した2017年版「アジア経済見通し」の改訂版で、インドのGDP成長率を17年は7.0%、18年は7.4%と、それぞれ0.4%、0.2%の下方修正をしました。「インド経済の成長は依然として強い」としながらも、物品サービス税導入に伴う混乱で「個人消費や投資が減少している」と指摘しています。

## 【スリランカ：中央銀行、景気支援を優先】

26日、スリランカ中央銀行は政策金利の現状維持（中銀預金金利7.25%、貸出金利8.75%）を決定しました。同国は、3月に干ばつ、5月には大洪水に見舞われ、景気鈍化とインフレ率の上昇が懸念されています。中央銀行は景気の下支えとインフレ率の安定という双方の目標を達成するための政策運営を求められています。中銀は、現状の金利水準は景気支援を優先している（緩和的）としながら、インフレ率と民間信用の伸びも抑制していると自信を示しました。

## 【パキスタン：FTSE、5銘柄を株価指数に採用】

パキスタン国立銀行（中央銀行）は29日の金融政策決定会合で、政策金利を5.75%に据え置きました。声明では、農業セクターの寄与によって総合インフレ率は2018会計年度（7月-翌6月）に目標である6%を下回り、2017会計年度に5.7%増だったGDP成長率は6%増に達するとの見通しを示しています。

株価指数算出サービスを手掛けるFTSE社は、日本を除くアジア太平洋株価指数の構成銘柄として同国の5企業を新規採用すると発表しました。小型株指数に4銘柄、総合指数に1銘柄が採用されます。

## 【バングラデシュ：エネルギー不足が深刻化】

GDP成長率が6%を超え、人口が急増しているバングラデシュはエネルギー需要が拡大しています。バングラデシュ繊維紡績協会（BTMA）は、電力不足によって工場の継続的な操業が難しいほか、電気料金やガス料金の高騰が収益を圧迫していると訴えました。同国はインドネシアやカタールと天然ガス（LNG）の長期供給契約を締結していますが、政府はLNGの価格調整に努力すると述べ、さらに工場の生産性を高めるための設備更新などの策を講じる考えを表明しました。

## 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

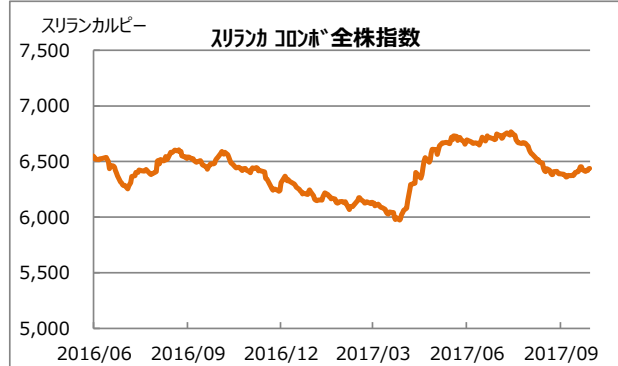
## 南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の値動き】〔期間：2016年6月1日～2017年9月29日、現地通貨ベース〕

(出所：ブルームバーグ)



—インド—



—スリランカ—



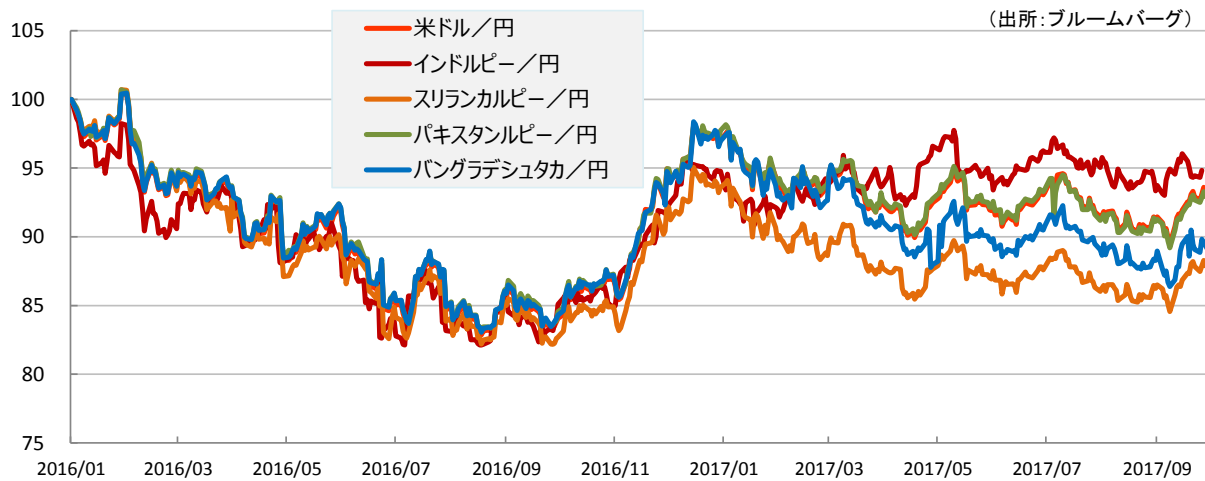
—パキスタン—



—バングラデシュ—

【為替の値動き】〔期間：2016年1月1日(基準日)～2017年9月29日、基準日を100として指数化〕

(出所：ブルームバーグ)



### 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

## 南アジア4カ国 マーケットレポート

### 投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

### お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.0412% (税抜き1.89%)
  - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
  - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。  
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用する公募の投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



## アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

### 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。